

## めじろ台地区 まちづくり憲章（案）

私たちの住むめじろ台は、日本遺産に認定されている自然の宝庫である高尾山を背景に、生活利便性が高く、住環境に優れ、緑にも恵まれた東京屈指の住宅地です。

昭和42年(1967年)10月1日から居住が始まり、現在に至っていますが、入居開始から既に50年以上が経過しており、人口減少、少子高齢化の進行、空き家・空き地等の課題が見えてきました。

今、新た動きとして、「多様なライフスタイル」、「多世代交流」、「ふれあい、助けあい、学びあいの地域コミュニティ」に根差した、健康で文化的な、新しい“まちづくり”の機運が芽生えています。

この様な状況を踏まえて、今後も将来に向けた良好な住宅や地域環境を育て、次世代に継承するために、ここに「めじろ台憲章」を定めます。

この憲章は、住民、町会員、市民活動団体、事業者、自治体、大学等の連携・協力で策定しました。

(令和2年7月19日)

めじろ台一丁目町会

めじろ台二丁目町会

めじろ台三丁目町会

めじろ台四丁目町会

めじろ台地区まちづくり協議会(準備会)

(多様性への配慮)

1. 多様な人々が生き生きと安心・安全に暮らせる、弱者に優しいまちを実現します。

(多世代共存)

2. 若者・子育て世代から高齢者まで、多世代で多様な人々が集い、互いに尊重し、共存でき、住み続けたいまちを目指します。

(コミュニケーション)

3. 様々なライフスタイルやライフステージを持つ人々に合わせた、新しいネットワーク環境づくりを行ない、気軽にいつでもどこでも集い、参加し、コミュニケーションができる、ふれあいのまちを目指します。

(自然)

4. 高尾山を背景に、緑多い美しいまちなみの環境を皆で守り、歩きやすく、住みたくなるような、人に優しいまちづくりに努めます。

(文化)

5. 音楽・芸術・カルチャー・生涯学習・社会奉仕といった文化性・社会性に豊んだまちを実現し、一人ひとりの個性を生かし、生き生きと過ごせるまちをめざします。

(歴史と未来)

6. これまでに培われてきた住民の知恵と努力を継承しつつ、変化する社会に柔軟対応しながら、将来に希望がもてるまちの未来を描いていきます。

(魅力の創造)

7. 多様な人々を惹きつけ続ける、魅力あるめじろ台をみんなで作ります。